

日本農業新聞

梨 1個ずつ 生産情報 印字

果皮に印字した生産情報



選果ラインに組み込まれたインクジェットプリンター(香川県豊後町で)



識別素早く正確 香川豊南 J A

香川県のJA香川豊南は今年産の梨出荷から、果実一つ一つに、生産情報を印字する、新しいトレーサビリティ(生産・流通履歴を追跡する仕組み)システムを導入した。ばら売りの袋売りと違った販売形態を問わず、万が一の時に出荷者の追跡、回収などの対応が素早くできる。鶏卵では殻に採卵日を印字する例が増えていたが、果実では珍しい取り組みだ。

新しいシステムは、光センサー選果機のラインに組み込んで使う。随時ごとのトレーに載せた果実に、インクジェットプリンターで食用の茶色の

インクを吹き付ける。

果実に印字されるのは

①JA名の組合員識別番号
②選果日③選果日に印字した通し番号の4項目
JAの選果機2レーンに導入し、1時間当たり4800個、1万5000個の印字選果する。

JAでは、7月30日の初荷から運用を始めており、「幸水」「豊水」「二十世紀」の3品種全量(規格外品は除く)で生産情報を印字する。JA和田支所の横山清次氏は「共通選果機では複数の生産者の果実が段ボール箱に入って出荷されるので、個人までの追跡が難しくなっていた。1個ずつ情報を印字すれば、識別が正確に素早くできる」と効果を説明する。

導入したシステムは、

	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)	17(金)	18(土)
札幌	29	31	31	29	27	27	27
仙台	28	28	28	28	28	28	28
東京	27	27	27	27	27	27	27
大阪	26	26	26	26	26	26	26
福岡	25	25	25	25	25	25	25
沖縄	24	24	24	24	24	24	24
北海道	23	23	23	23	23	23	23
青森	22	22	22	22	22	22	22
岩手	21	21	21	21	21	21	21
宮城	20	20	20	20	20	20	20
秋田	19	19	19	19	19	19	19
山形	18	18	18	18	18	18	18
福島	17	17	17	17	17	17	17
茨城	16	16	16	16	16	16	16
栃木	15	15	15	15	15	15	15
群馬	14	14	14	14	14	14	14
埼玉	13	13	13	13	13	13	13
千葉	12	12	12	12	12	12	12
東京都	11	11	11	11	11	11	11
神奈川県	10	10	10	10	10	10	10
静岡県	9	9	9	9	9	9	9
愛知県	8	8	8	8	8	8	8
岐阜県	7	7	7	7	7	7	7
富山県	6	6	6	6	6	6	6
石川県	5	5	5	5	5	5	5
福井県	4	4	4	4	4	4	4
山梨県	3	3	3	3	3	3	3
長野県	2	2	2	2	2	2	2
新潟県	1	1	1	1	1	1	1
北陸県	0	0	0	0	0	0	0

産業用インクジェットプリンター大手の紀州技研工業製で、地元電子機器メーカー・YES(ワイイーエス)が選果機に合わせてプログラムを開発した。